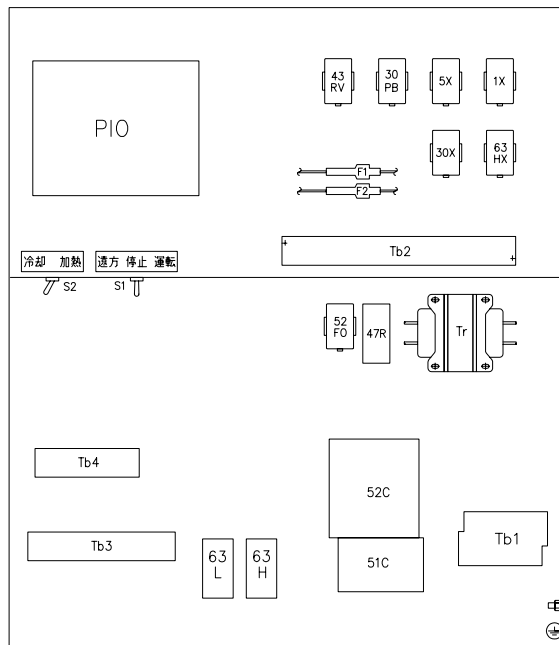


機器配置図



記号説明

記号	名 称	記号	名 称
1	運転スイッチ	CLT	サーミスタ(コイル温度)
1X	運転リレー	CN	コネクタ
5	停止スイッチ	ET	サーミスタ(冷温水入口温度)
5X	停止リレー	F	ヒューズ(定格 250V 10A)
20SF	四方弁電磁コイル	LT	サーミスタ(冷温水出口温度)
30PB	冷温水ポンプインターロックリレー	MC	圧縮機モータ
30X	故障表示リレー	MFO	室外ファンモータ
43RV	加熱リレー	OL	故障表示灯
47R	逆相防止リレー	PIO	制御基板
49F	ファンモータ過熱防止サーモ	RL	運転表示灯
51C	圧縮機オーバロードリレー	S	スイッチ
52C	圧縮機モータ電磁接触器	Tb	ターミナルブロック
52FO	ファンモータ電磁接触器	Tr	トランス
63H	高圧スイッチ		
63HX	高圧スイッチ補助リレー		
63L	低圧スイッチ	□ ◎	ターミナル
69W	フロースイッチ(現地手配)	—	盤内結線
88PB	冷温水ポンプ電磁接触器(現地手配)	=====	盤外結線
CH	クランクケースヒータ	----	現場結線

- 注1 現場では、冷温水ポンプのインターロック結線および電源配線が必要です。
端子番号#12,#13の間に冷温水ポンプ電磁接触器のα接点およびフロースイッチを直列に接続してください。
- 注2 操作回路を別電源にする場合は、端子番号#1,#2の下側(丸端子側)の結線を外し、ここへ電源を接続してください。
- 注3 遠方操作を行なう場合は、付属のリモコンスイッチを使用してください。
- 注4 電源電圧の変動は、圧縮機始動時の電圧降下も含み、定格電源の±10%の範囲で使用してください。
電源電圧間の電圧不平衡は2%以内で使用してください。
- 注5 冷温水ポンプの運転は、必ずポンプ連動用信号を用いてください。この製品は、プレート式水熱交換器を使用していますので、ポンプ連動用信号を使用しない場合は、水熱交換器内の水が急速に凍結し、故障が発生する恐れがあります。製品電源投入時は、必ずポンプの電源を投入し、ポンプ連動用信号でポンプの自動運転ができる必要があります。(ポンプ連動端子は、クーラ凍結防止動作として、ユニット停止直後の残留運転および、ユニット停止時に、水温を検知した自動間欠運転を行ないます。従いまして、連動制御を使用する場合はポンプ保護のため停止時に水があること、電磁弁等で水回路が閉塞されないようにする必要があります。)
- 注6 ポンプインターロック回路は、必ずポンプ電磁接触器およびフロースイッチを直列に結線し配線してください。

適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺	1
RUA-P1902H				納入先	チリングユニット 電気配線図(200V)	度	**
RUA-P2502H				客先	左記		
	日付			東芝キャリア空調システムズ株式会社	図面番号	頁	改版
					T30RQA202-2	1 / 2	C

